

記者配布資料

平成25年8月28日

部 課 名	課長名	班長名	担当者職・氏名	連絡先・県庁内線
山口県 健康福祉部 健康増進課	原田 弘之	母子保健・感染症班 植村 達也	主査 大塚 佳子	083-933-2956 内線2956
発表内容の 関係地域	全県、岩国、柳井、周南、山口、防府、宇部、山陽小野田、下関、長門、萩、首都圏			

腸管出血性大腸菌(O157)感染症患者の集団発生について

8月19日に公表した腸管出血性大腸菌感染症患者の発生について、5人の患者について、検体の細菌遺伝子検査を実施したところ、昨日（8月27日）に遺伝子が一致することが判明したことから、同一施設（保育所）での集団発生であることが確認されました。

現在、宇部健康福祉センターでは、当該感染症のまん延の防止に向けた一連の防疫措置を実施しております。

なお、当該保育所では、宇部健康福祉センターの指導に沿って、既に保護者への説明、施設の消毒等を実施済みであり、宇部健康福祉センターが行う感染状況の調査にも協力し、当該感染症のまん延防止に努めています。

患者の概要等については、下記のとおりです。

本情報提供は、県民への感染症予防の啓発のために行うものですので、患者等の人権の尊重には御配慮願います。

記

1 概要（平成25年8月28日現在）

○患者（有症者）9名

区分	①園児	②小学生(③、④の兄)	③園児	④園児	⑤小学生(⑥の兄)	⑥園児	⑦小学生(⑧の兄)
性別	男児	男児	男児	女児	男児	男児	男児
発病月日	8月7日	8月9日	8月10日	8月10日	8月18日	8月13日	8月23日
初診月日	8月8日	8月9日	8月10日	8月10日	8月19日	8月23日	8月23日
届出月日	8月13日	8月16日	8月18日	8月18日	8月22日	8月25日	8月25日
症状	発熱、下痢、 血便	下痢、血便	発熱、嘔吐、 下痢、血便、 腹痛	発熱、嘔吐、 下痢、血便、 腹痛	嘔吐、下痢、 腹痛、血便	下痢、血便	軟便
現在の状況	完治	完治	入院中	入院中	入院中	通院中	通院中

区分	⑧園児	⑨園児
性別	女児	女児
発病月日	8月20日	8月18日
初診月日	8月24日	8月24日
届出月日	8月26日	8月26日
症状	腹痛、軟便	下痢
現在の状況	通院中	通院中

※①～⑤について細菌遺伝子検査を実施

※②～④については、8月19日記者配布した案件

○保菌者（無症状病原体保有者）2名

区分	⑩園児	⑪成人(30歳代・⑥の親戚)
性別・年齢	男児	男性(30歳代)
届出月日	8月26日	8月25日
症状	なし	なし
現在の状況	通院中	通院中

2 防疫措置の実施状況（平成25年8月28日現在）

(1) 疫学調査の実施

当該施設関係者（職員）、患者家族及び届出医療機関から、感染症の発生状況及び原因等について調査。

感染原因については当該施設での食中毒ではないと考えられる。

(2) 関係者の健康診断の実施

当該施設関係者（園児、職員）、患者家族の健康状況調査や保菌検査（検便）を実施中。

○検便実施状況（H25.8.13～継続中）

H25.8.28現在

区 分	対象者	うち 実施者	検査結果等		
			陽性	陰性	検査中
園 児	175	147	7	47	93
職 員	31	31	0	28	3
接 触 者 (家族(小学生等))	40	36	4	21	11
合 計	246	214	11	96	107

※園児の未実施者28名及び接触者4名については、検便提出後、検査を実施

(3) 関係者への衛生教育の実施

当該施設関係者（職員）、患者家族に、健康観察、手洗い、食品の取扱い等について指導。

(4) 保育所、患者自宅の消毒の指導

当該施設関係者（職員）への指導により、施設の消毒は実施済。

患者家族に消毒について指導。

3 本年の山口県の発生状況（本患者含む。）

32名（O157：31名、O26：1名）

【腸管出血性大腸菌感染症の予防対策】

各家庭や食品関係施設においては、次の事項に留意してください。

①石けんでよく手を洗いましょう。

・調理前、排せつ物をさわった後は、十分手を洗いましょう。

②調理上の注意

・食品は、中心部までよく加熱（75℃、1分間以上）しましょう。

・調理後は、なるべく早く食べましょう。

③小児や高齢者などは生肉を食べないようにしましょう。